

【注意：新型コロナウイルス対応】 履修の際、UTASへの登録と同時に、表題の下に記載されている（複数の場合すべての）幹事教員へ、最初の講義の前日までに、名前と学籍番号を記した受講希望のメールを出してください。なお、まち大以外の方で受講されたい方は、[office@mps.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:office@mps.t.u-tokyo.ac.jp) までご連絡ください。

## 2020年度「安全・安心まちづくり論」シラバス

金曜6・7限

教授 加藤孝明（生産技術研究所）

### □講義の目的

都市防災概論に引く続く自然災害に備える都市づくり・まちづくりをテーマとする講義。今回の講義では、今日的トピックをとりあげる。いずれも行政の計画策定の現場、地域社会でのまちづくりの現場で試行、実践を通して現在進行形で理論が確立されつつある先駆的なものである。理論としては必ずしも完成しているものではない。本講義を通して、現在の到達点を確認し、今後の方向性について受講生とともに議論する。なお、4回目の講義については災害全般を考えるとときに必要とされる社会心理、災害情報の基礎知識を講義する。

1. コミュニティベースの防災まちづくり（生研・加藤孝明）
  - ・ コミュニティベースの防災まちづくりの進め方のモデル
  - ・ 地区防災計画制度の可能性
2. 復興の診方と次の大災害に備えた復興準備のあり方（生研・加藤孝明）
  - ・ 東日本大震災の復興の現状
  - ・ 事前復興と復興準備、復興準備のあり方
3. 防災都市づくり・防災まちづくりに関する今日的論点（生研・加藤孝明）
  - ・ 商業・業務地区の防災とエリアマネジメント
  - ・ 今後の防災都市づくりの方向感と必要とされる技術革新
4. 都市と災害情報（都市工・廣井悠）
  - ・ 災害情報の基本